

会館だより

2013年 7月号 第289号



公益財団法人 日中友好会館

「会館だより」7月号の内容

行事案内

《日中友好会館美術館》

- ・貸美術館催事「国際画家展」

《日中友好後楽会》

- ・談話会・交流夕食会
- ・後楽会中国旅行

活動記録

- ・後楽会春季ハイキング
- ・池袋防災館見学・防災体験の感想
- ・北区日中友好促進懇談会
- ・後楽寮生、「神田祭」を観る
- ・小田原ホームステイに参加して

コラム

- ・理事長のツイッター

会館行事と人の動き

表紙

『沈萬山發財』 年画

（「小説(ものがたり)・戯曲(しばい)を描く
—中国木版年画展」より
2013年5/31開幕、6/23終了）

行事案内

日中友好会館美術館

◆貸美術館催事「国際画家展」

会期：2013年7月2日(火)～7月8日(月)
時間：10時～17時（最終日は15時まで）
主催：亜細亜国際美術会

アジアにおける新しい美術発展を基本理念とし、日本、中国、韓国等で活躍している画家達で構成されています。油彩画、中国画、韓国画、日本画、水彩画、出版美術等で30名～40名前後の予定です。

今年は林忠赫作の「ピア・ホール」120号の油彩画が発表されます。一般的に水準の高い展覧会で注目されていますのでぜひご来場ください。

【お問合せ】亜細亜国際美術会
電話：043-377-7737
080-6772-4851

日中友好後楽会

◆談話会・交流夕食会

7月も実施予定ですが、詳細が決定次第、別途お知らせいたします。

◆後楽会中国旅行

現在も申込み受付中です。最終的な申込み締切は8月となりますが、振込案内や諸連絡がございますので、ご希望の方はまずはご一報いただきますようお願いいたします。
(事務局担当：小林)

日程：11月18日(月)～11月25日(月)泊8日

行先：雲南省麗江・大理・昆明

内容：

- 1日目 成田より雲南省麗江へ移動
- 2日目 麗江見学
(世界遺産 麗江古城、玉泉公園、
トンパ文化博物館、木府等)
- 3日目 麗江見学
(玉龍雪山、白沙村、束河村、
茶馬古道博物館等)
- 4日目 麗江より専用バスにて大理へ
途中、劍川県見学(長江第一湾、
石鼓鎮 沙溪古鎮等)
- 5日目 大理見学
(周城村、崇聖寺三塔、
大理古城 喜州村等)
- 6日目 大理より専用バスにて昆明へ
途中、祥雲県雲南駅鎮、楚雄市博
物館を見学
夜、元後楽寮生と交流夕食会
- 7日目 昆明見学(西山の龍門、石林等)
- 8日目 成田へ帰着

参加費用：会員 ¥208,000/1名
(2人一部屋利用の場合、
国際線燃油チャージ代別)

詳細はお問い合わせください。

【申込み・問合せ】

後楽会事務局 小林、緒方、大竹
電話：03-3811-5305
FAX：03-3811-5263
メールアドレス：kourakukai@jcfc.or.jp

活動記録

◆後楽会春季ハイキング

春のバスハイクは、5月23日、茨城県にある紬の里と偕楽園公園に行きました。午前中は、結城市にある紬の里にて、日本の伝統工芸である結城紬の機織りと藍染めを体験しました。初めて体験する参加者が多く、他にはない自分だけのコースターやハンカチを作りました。午後は水戸の偕楽園に移動し、好文亭や園内を散策しました。お天気にも恵まれ、日中の参加者は自然と触れ合いながら、楽しく交流ができました。



紬の里にて藍染め体験



はた織り機でコースター作りに挑戦



好文亭の前で記念撮影

《参加した寮生の感想文》

「紬の里、偕楽園公園」への 春季ハイキング

日中友好会館後楽会主催の「紬の里、偕楽園公園」春季ハイキングが2013年5月23日に絶好の天気にも恵まれ開催された。後楽会会員、後楽寮寮生を含め、計19名が参加した。



「紬の里」でスタッフがはた織りについて説明

一行は7:55にバスで日中友好会館前を出発。車内では、大竹貢さん(後楽会事務局担当)と陳世華先生(留学生事業部副部長)の挨拶の後、参加者の自己紹介となり、和やかな時間が過ぎた。出発してから約2時間後、見学先の「紬の里」に到着した。

「紬の里」は茨城県結城市に位置し、藍染めやはた織りが楽しめる体験工房として

知られている。工房にてスタッフから伝統的な手法についての説明のもと、藍染めやはた織りを体験した。藍染めはハンカチなどの折り方、縛り方によって色々な模様が出てくる。はた織りも、自分の好きなよこ糸を選ぶことができるので、同じやり方でも、各々個性豊かな織物が出来上がった。染め・織りを実際に体験することで、手作りの面白さを楽しみ、結城の伝統文化に触れることができただけでなく、当地の町おこしにも繋がっていると感じた。

美味しい和食の昼食後、「偕楽園」を見学した。偕楽園は、金沢の兼六園、岡山の後楽園と並ぶ「日本三名園」の一つであり、天保13年(1842年)に水戸藩第九代藩主徳川斉昭によって造園され、その名前には斉昭の「領民と偕に楽しむ場にしたい」という願いが込められている。

参加者一行は園内散策をしながら、「好文亭」へ進んだ。途中、常磐神社、見晴広場、千奕台、左近の桜、偕楽園記碑などの見どころを経由し、咲き誇るサツキ、アジサイの素晴らしい眺めを楽しんだ。満開の梅で溢れる時期ではないが、見事な新緑や静かな雰囲気疲れが完全に癒され、実に心地良い体験であった。



好文亭にて

「好文亭」は斉昭により、詩歌の会や茶会などを催すために建てられたもので、その名はウメの異名「好文木」に由来するといわれている。二層三階の「好文亭主体」と北側の奥御殿からなっている日本式建築物であり、中に入ると、襖に描かれた四季の絵が我々を迎えてくれる。菊の間、桃の間など十室をめぐるから、急な階段を上がると、三階の楽寿楼と呼ばれる八畳間の正室に着いた。ここで偕楽園のため息が出るくらい素敵な景観が一望できる。「好文亭」の質実さと優雅さに魅了され、みんなはたくさんさんの記念写真を撮っていた。

「好文亭」散策を堪能して当日のハイキングコースも終わりを迎えた。東京への帰り道で、参加者たちは楽しくおしゃべりをしながら、早速次回の後楽会催事を期待しはじめた。今回、日中両国の参加者たちはバスハイクを満喫しただけでなく、お互いの交流も大変深まり、実りあるバスハイクとなった。



楽寿楼からの眺め

(後楽会事務局、感想文:後楽寮生 劉林潔)

◆池袋防災館見学・防災体験の感想

5月25日、後楽寮生のわれわれは池袋防災館を見学する機会に恵まれ、地震や火災などを、身をもって体験した。日本は地震多発国として世界にもよく知られている。そのため、日本は防災教育の方面において非常に豊富な経験を保有している。今度の体験はわれわれが地震や火災に対する認識を深めるだけでなく、これらの災害に対応する能力も高めてくれた。



消火器を使っでの訓練

防災体験は主に地震ビデオ、消火器の使用、火災体験と地震体験という四つの部分に分かれていた。

まず、地震ビデオが2011年に起こった東日本大震災と津波の状況、原理の説明があった。われわれは自然災害の発生を阻止することはできないにもかかわらず、少なくとも災害の危険性を認識し、対応能力を高めることをすべきである。

次は消火器の使用である。消火器はどこにもよく見られているが、消火器の使用できる人はそれほど多くない。火災が起きた場合、消火器があっても使えない状況が多くあるのではないだろうか。これは一見難しいが、簡単な操作だった。火災が起こった場合、まず大きな声で「火事だ」と周囲に知らせ、それから消火器のホースの握り方や火元に向かって使うことなどに注意すればいい。しかし、消火器の使用にも限界

がある。もし炎がすでに天井に到達した場合、あっという間に周囲に広がる可能性が高いので、できるだけ早く現場から逃げたほうがよい。

消火器の使用のあとは煙体験だった。火災が起こった場合、有毒な煙はまず天井に昇り、それから周囲に広がり、最後に地面に落ちるのである。したがって、煙を吸い込まないため、必ず体を小さくして（少なくとも床から1.2メートル以下）、タオルやネクタイなどで口と鼻を塞ぎ、上体を低くして逃げるべきである。注意点は外にもいろいろある。たとえば、煙に巻かれ周囲がはっきり見えない場合、壁に触って非常口を探すべきである。ドアなどを開く前、まずドアに軽く触り、温度を確かめる。もしドアが非常に熱い場合、向こう側も火がある可能性が高いので、決して開いてはいけない。現場から逃げたあと、必ずドアを閉め、煙の拡散を止めるべきである。エレベーターは使用禁止である。

最後は地震体験である。われわれは東日本大震災、関東大震災などと同じ震度の地震を体験した。日本の地震警報システムは非常に発達している。地震を予測することはできないにもかかわらず、警報システムはすばやく警報情報を発信することができる。地震が起こった場合、まずその場でテーブルなどの下に潜り、身を守るべきである。地震が安定してから、避難場所に避難すべきである。

防災体験に参加することは非常に有意義なことであった。今度の体験で災害の場合自分を守ることができるだけでなく、周囲の人を助けることもできる。将来、ボランティアとしてこの防災知識を活用して、より多くの人を助けたいと思う。

(後楽寮寮生委員会 馬成山
翻訳: 後楽寮生 劉露)

◆北区日中友好促進懇談会



北区日中友好協会、大使館の方々と参加者

5月18日、留学生事業部副部長の陳世華先生、部長代理の田辺先生及び寮生たち一行8人は北区日中友好協会が主催する日中友好促進懇談会に出席した。

北区日中友好協会花川会長、中国大使夫人汪参事官、青木衆議院議員がそれぞれ挨拶を行い、草の根の交流の重要性を強調した。

盛りだくさんの料理を楽しみながら、寮生たちは日本の友人と積極的に交流し、さまざまな話をした。食事の後、寮生の孟繁傑さんが日本と中国の歌2曲を披露し、会場を盛り上げた。

最後に、中日関係の「春」を祝い、寮生たちが会場に集まる来賓とともに、両国の童謡を歌った。美しい歌声の中で交流会が無事終了した。

今回の交流を通じて、寮生たちは日本の友人が中日関係のよき未来、そしてアジアの平和を強く望んでいることを身を持って感じ取った。微力ながら、中日交流の架け橋になるため、寮生たちは更に一層取り組む決心を新たにした。

(後楽寮寮生委員会 何鵬挙、孫超)

◆後楽寮生、「神田祭」を観る

5月12日、千代田区日中友好協会主催の交流会に留学生事業部の陳副部長と寮生10名が参加しました。

千代田区日中友好協会からは毎年春にはお花見にご招待いただいておりますが、今年

は「神田祭」に参加させていただくことができました。これは「日本三大祭り」、「江戸三大祭り」の1つで2年に一度本祭りが行われますが、前回は東日本大震災により中止されたため、4年ぶりに行われたそうです。

まず、昼食を取りながら田邊恵三会長の挨拶と会員の方による神田祭の歴史や見どころなどの紹介がありました。

続いて各町会 108 基の神輿が集まる中央通へ移動し、寮生達は半纏を着させていただき、地元町会の皆さんと記念撮影やお互いに写真を撮り合ったりしました。最大の見どころである神輿の宮入見学では、協会顧問である石川千代田区長が特別に手配してくださった拝観特別席で見させていただくことができました。これには寮生達も大変喜び、「これほど盛大な祭りを目の前で見たのは初めてです！」と大興奮していました。



祭り衣装を着せてもらう寮生

興奮冷めやらないまま場所を湯島聖堂に移し、孔子廟を参観しました。ここも千代田区日中友好協会としては是非中国人留学生に訪れてほしいスポットの1つだそうです。まず本殿の大成殿を参拝後、孔子像の前で記念撮影をしました。この像は世界中にある孔子像の中で一番大きいそうです。これにも寮生たちは驚いていました。

今回は特別な行事に参加させていただきましたが、準備にご尽力いただいた千代田区日中友好協会の皆様には大変感謝申し上げます。

今後もこのような機会があったらできる

だけ多くの寮生に参加、経験してもらいたいと留学生事業部では考えています。



孔子像の前で

(留学生事業部)

◆小田原ホームステイに参加して

2013年5月2日から5月4日まで、私は小嶋さんの家庭で、初めて「ホームステイ」を体験することができました。

5月2日午後3時50分、留学生事業部の方達が親切に門まで送ってくれました。3日間の「ホームステイ」はこうして始まりました。皆小嶋夫婦へ些細なプレゼントを持って行きました。主人の小嶋さんが大好きな白酒や、小嶋夫人への綺麗に包んだお菓子などを用意しました。話によると、小嶋夫婦は長年中国人留学生の招待をしていて、いつも中国人留学生に日本家庭文化体験の希な機会を提供し続けているそうです。私達の些細なプレゼントが、小嶋夫婦への感謝を表せるようにと願っていました。

午後6時10分、私達は予定通り神奈川県小田原市の鴨宮駅に着きました。小嶋さんは、遠くから私達だと分かり、笑顔で手を振ってくれました。初めて「ホームステイ」に参加する私達にとって、小嶋夫婦の接待はとても親しみを与えてくれました。夕日が沈んでから間もなく、小嶋さんの家は素朴的で、幽静な雰囲気にも包まれていました。この日は、皆で「すき焼き」を食べながら、小嶋さんは以前の高校でのお仕事や、奥様との生活について語っていました。小

嶋さんが提示してくれた写真からは、小嶋さんが教えていた高校は歴史があり、教育にも熱心だと感じました。

翌日は、丁度小田原の「北條五代祭り」でした。小嶋さんご夫婦は、おにぎりの作り方を教えてくれて、その日の昼食として用意しました。小田原城では、大人気の「まち衆隊」と「武者隊」からなるパレードを見ました。小田原城を見学する際、小嶋さんの奥様は丁寧に小田原城の歴史や、北条氏対豊臣氏の「一晩で出現したお城」の物語を紹介してくれました。昔、小田原城を攻める豊臣氏は、小田原城が見えない山上の木影に隠れてこっそりとお城を立てていました。北条氏はまったくお城が近くに建てられているとは知らず、強固な小田原城の中で豊臣氏が来るのを待っていました。しかし、お城が完成すると、豊臣氏は一晩でお城を隠している木を静かに全て切り倒しました。夜が明けると、小田原城内の人達はすぐ目の前に敵のお城が出現したことを知り、一晩で敵はお城を建築したと錯覚してしまいました。豊臣氏の戦略だと思えない北条氏は、敵の戦力には勝てないと思い降伏してしまいました。当時の戦争状況の緊張感や、戦略を練り合うこの物語はとても印象的でした。

小嶋さん達は、私達のために朝早く起きただけではなく、一日中いろいろ気遣いをしてくれていたので、きっと疲れているんだと思いました。小嶋さん夫婦に少し休んでとお願いをし、夕食は私達が小嶋さん達に美味しい料理を作ってあげよう決めました。私達4人は協力し合いながら、美味しい餃子を作ろうといろいろ食材を検討しながら作りました。小嶋さん達が来た時は、先に作り終わった餃子を食べてもらい、私達は急いで最後のスープを作り、食卓に集まりました。餃子を食べながら、6人でいろいろと会話を楽しむことができました。餃子を好んでもらえて、私達はとても嬉しかったです。

最後の日に小嶋さん夫婦は、私達を一番良く富士山が見える場所に連れて行ってくれました。そこでは美しい湘南の海まで広がっている伊豆半島が私達の目を魅了させました。青空の下のこの景色は、大自然が描いてくれた最高の美術作品です。山の背後、遠い雲の上には、白雪の冠をしている富士山の山頂が見えました。6月にもうすぐ世界遺産にデビューされる富士山は、今きつととても忙しいです。しかし、まるで私達の声が聞こえたかのようで、雲の端からそうとこっちを見ていました。



小田原の海をバックに小嶋ご夫妻を囲んで

富士山と別れを告げた私達は、次は海と山に囲まれた農園に行きました。毎年美味しい果物が沢山できるそうです。私達は小嶋さんのご指導の下で、どのように柚子を取るかを教えていただきました。柚子は美しい山の栄養を十分吸収しているようで、大きく実を膨まらせていました。美しい風景を眺められるこの農園で、私達はもう記念の写真を残さずにはいられませんでした。女性も男性も、すでにファッションモデルの気分になっていました。

この日はまた海浜にも行き、私達の満足感は一層高まっていました。僅か3日間の「ホームステイ」はあっという間に過ぎてしまいましたが、私達にとっては最高の体験でした。小嶋さんは私達に最高の小田原市を紹介してくれて、私達も最高のご夫婦に会うことができました。この大切な思い出の全ては、私達の心の中にずっと保ち続けます。
(後楽寮生 傳陽秋)



理事長のツイッター

(公財)日中友好会館 理事長 武田 勝年

去る5月23日、公的機関や企業の広報活動の指導をしておられるM氏をお招きして、会館の広報の在り方や広報担当者的心構え等について、講演と懇談をお願いしました。新聞社や通信社に勤務され、現在は広く社会に対してエネルギーや農業など日本が抱える大きな課題について提言を発信しておられるM氏のお話を聞いて、広報チームメンバーはそれぞれ大いに参考になったと思いますが、M氏が仕事に取り組む基本姿勢として「前向き」「外向き」「上向き」を強調された時、私は商社に勤務していた時代を思い出し、改めて組織内で働く者の原点に立ち戻ることの重要性を再認識しました。

昨年秋以来、日中両国が主張を異にする外交問題があるために、中国との民間交流活動がいささか停滞しており、ともすると机に向かって俯きがちになって仕舞うのですが、こんな時こそ口の中で「前」「外」「上」と唱えて、積極的な思考と言動を心がけたいものです。職場の内外を問わず、人が喜ぶこと、人に役立つことを探し出して自ら汗をかくこと、「わくわく感」（これもM氏の言葉）を共有して皆で一緒に新しい試みに挑戦することが大事です。徒労に終わってもいいから、失敗してもいいから、わくわくすることに価値があると思います。両国共に相手国に対して「親しみを感じる」比率が大きく低下している厳しい現状をしっかりと認識した上で、「後」「内」「下」を排して、知恵と工夫で一步一步前進しようと気持ちを新たにしました。

会館行事と人の動き 5/1～31

● 会館行事

- 4/15～5/17 ▶ 主催展「日中友好会館所蔵中国絵画名品展」
- 5/ 2～5/ 4 ▶ 後楽寮生・小田原ホームステイ
- 5/11 ▶ 後楽寮生講座(講師:中国大使館教育処 白剛公使参事官)
- 5/16 ▶ 後楽会中国画教室
- 5/21 ▶ 役員定年意見交換会
- 5/23 ▶ 後楽会春季バスハイク (茨城県結城紬体験、水戸偕楽園)
- 5/25 ▶ 後楽寮生・池袋防災館見学
- 5/31～6/23 ▶ 主催展「小説(ものがたり)・戯曲(しばい)を描く—中国木版年画展」
(5/31開幕・ギャラリートーク)

● 来館・訪問・面会

- 5/10 ▶ 元後楽寮生 三菱商事(中国)朱鳴氏来館 (武田理事長、留学生事業部)
▶ 外務省川田調整官来館 (武田理事長)
- 5/15 ▶ (社)岸本倶楽部往訪 (留学生事業部)
- 5/22 ▶ SK東京監査法人面談 (武田理事長他)

● 行事参加、その他の活動

- 5/ 5 ▶ 松山バレエ団ご招待「新・コッペリア」鑑賞 (後楽寮生65名)
- 5/12 ▶ 千代田区日中友好協会交流会 (留学生事業部、後楽寮生)
- 5/17 ▶ 日中友好7団体懇親会 (武田理事長)
- 5/18 ▶ 北区日中友好協会友好促進懇談会 (留学生事業部、後楽寮生)